

令和 6 年度

糖尿病性腎症及び慢性腎臓病（C K D）

重症化予防プログラム取組状況調査結果（速報値）

令和6年11月実施

1

I . C K D 対策（フロー図 4）に取り組む市町村数

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度 (令和6年11月時点)
2 0	2 2	3 2	3 5
抽出基準			令和 6 年度 回答数 (令和6年11月時点)
県基準 【eGFR60未満】もしくは【尿蛋白(+)以上、尿蛋白2年連(±)】			1 4
独自基準			2 1
(参考) 令和 6 年度特定健診全対象者への 血清クレアチニン検査の実施状況			5 1 / 5 4 市町村 (未実施のうち 2 市町村で は個別健診では実施)

回答市町村：5 4 市町村
(回答率100%)

フロー図 4 の未実施の理由

- ・マンパワー不足
- ・予算不足
- ・CKD対策協力医が少ない、腎臓専門クリニックがない
- ・医師会やかかりつけ医、専門医との連携がとれない
- ・糖尿病性腎症重症化予防事業を優先的に実施

2

2. 市町村の取組実施内容

(1) 受診勧奨方法（複数回答可）

	令和4年度 (22市町村)	令和5年度 (32市町村)	令和6年度 (35市町村) (令和6年11月時点)
通知	20	31	32
電話	16	18	17
面接	10	12	18
訪問	10	10	13
その他	2	1	2

令和6年度 その他の内容
・電話による個別指導
・電話で実施し、場合によって面接や訪問を実施

3

2. 市町村の取組実施内容

(2) 受診勧奨実施状況

	令和3年度 (20市町村)		令和4年度 (22市町村)		令和5年度 (32市町村) (令和6年11月時点)	
	人数	回答市町村数	人数	回答市町村数	人数	回答市町村数
①受診勧奨実施者の実数	4,474	20	4,545	22	5,543	32
ア. CKD対策協力医への受診勧奨実施者の実数	790	4	943	5	984	10
イ. 腎臓専門医への受診勧奨実施者の実数	395	6	526	7	520	11
ウ. 独自作成の受診勧奨先医療機関一覧等に基づいた受診勧奨実施者の実数	1,842	7	1,593	6	2,107	13
②受診勧奨後、受診した対象者の実数	2,463	19	2,491	22	2,721	27

※ア～ウについては重複あり ※②は評価期間前のため人数を計上していない市町村もあり

4

2. 市町村の取組実施内容

(3) 受診勧奨後の未受診者対応

	令和5年度 (32市町村)	令和6年度 (35市町村) (令和6年11月時点)
①レセプトで受診確認を実施	26	31
②再勧奨通知	6	5
③再勧奨電話	13	15
④再勧奨面接	5	6
⑤再勧奨訪問	5	7
⑥その他	2	1

(4) かかりつけ医との連携

	令和5年度 (32市町村)	令和6年度 (35市町村) (令和6年11月時点)
①医療機関と事業実施について協議	24	26
②県が作成したCKD対策協力医リスト・腎臓専門医リストを活用し受診先を紹介	11	12
③医療機関と協議し、独自に受診勧奨先医療機関一覧等を作成し紹介	13	15
④対象者が受診後、治療方針等を確認し保健指導	8	11
⑤情報共有ツール作成	7	7
⑥かかりつけ医が保健指導が必要と判断した場合の紹介方法を決めている	4	4
⑦その他	8	10

※(3)・(4)ともに複数回答可